2025年度　授業計画（シラバス）　　日本コンピュータ専門学校

| 学科名 | 学年 | 授業のタイトル（科目名） |
|---|---|---|
| 工業専門課程　デジタルクリエイター科 | 1 | CG制作Ⅰ（Photoshop） |
| **授業の種類** | **授業担当者** | **実務経験** |
| 講義と実習 | 寺窪　洋子 | 有 |

**[実務経験歴]**

平成26年より5年間、専門学校専任教員として、グラフィックデザインを軸としたCG制作担当。
その後、DTPを中心に編集プロダクション等の制作会社で、WEB制作を含めたグラフィックデザインを担当。
2014年よりフリーランスとしてグラフィックデザイン制作を請け負う傍ら、
非常勤講師と求職者支援訓練校講師にてグラフィック制作全般を担当。

| 単位数（授業の回数） | | 時間数 | | | 配当時期 | 必修・選択 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | 単位　（　30　回） | | 60 | 時間 | 通年 | 選択 |

**[授業の目的・ねらい]**

①画像制作ソフトPhotoshopの基本操作習得。
②課題制作を通じて応用力・表現力・完成度を高める。

**[授業全体の内容の概要]**

①Photoshopの基本操作について
②Photoshopを使用した課題制作と提出
③制作物の内覧会と簡易プレゼンを実施

**[授業終了時の達成課題(到達目標)]**

Photoshopの基本操作と技術の習得

**[準備学習の具体的な内容]**

基本操作を習得し、実践的な理解を深める。
課題提出で、習得状況を確認し、実習に反映。

**[使用テキスト]**

**使用テキスト**

世界一わかりやすい Photoshop 操作とデザインの教科書必要に応じてデータ配布。

**参考文献**

必要に応じて授業の中で紹介

**[単位認定の方法及び評価の基準]**

定期試験と出席日数の両方が次の規定に達した場合に認定する。
・試験の点数は60点以上を合格点とする。
・全出席日数の4分の3以上の出席が必要。
評価基準
定期試験80%　平常点（出席　講義の参加度）20%とする

**[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]**

| | |
|---|---|
| 1回 | Mac基本操作／描画ソフトについて／自己紹介 |
| 2回 | photoshop基本操作／画像解像度とサイズ変更／選択ツール |
| 3回 | photoshop基本操作／選択とマスク |
| 4回 | 色の設定と描画の操作 |
| 5回 | ブラシ |

| | |
|---|---|
| 6回 | レイヤーの操作 |
| 7回 | 様々なレイヤー機能 |
| 8回 | 文字とパス・シェイプ |
| 9回 | 文字とパス・シェイプ |
| 10回 | グラデーションとパターン |
| 11回 | マスクと切り抜き |
| 12回 | マスクと切り抜き |
| 13回 | フィルターと効果／演習課題 |
| 14回 | フィルターと効果／演習課題 |
| 15回 | レイヤースタイル／演習課題 |
| 16回 | 写真の補正 |
| 17回 | 色調補正／演習課題 |
| 18回 | 色調補正／演習課題 |
| 19回 | 写真の修正と加工 |
| 20回 | 写真の修正と加工 |
| 21回 | 合成課題 |
| 22回 | 合成課題 |
| 23回 | グラフィックデザインを作る |
| 24回 | グラフィックデザインを作る |
| 25回 | 課題「フォトコラージュ」 |
| 26回 | 課題「フォトコラージュ」 |
| 27回 | 課題「フォトコラージュ」 |
| 28回 | まとめと振り返り |
| 29回 | |
| 30回 | |